

金沢市都市像「未来を拓く世界の共創文化都市・金沢」

(令和5年12月15日議決)

1 趣旨

国際社会は、今、不確かで見通しが難しい時代にあります。グローバル化・ボーダーレス化は、諸問題を複雑化させており、さらに地球規模での気候変動や平和秩序の低下は、国際社会の様々な矛盾を顕在化させています。

我が国にあつては、国際社会と関連した問題の解決がより難しくなっているほか、人口減少や少子高齢化、東京一極集中など、固有の問題が依然として大きく横たわっており、その解決への道筋は、いまだ不透明な状況にあります。

他方、国内外の影響を受けながらも、都市自治体は、国家間の対立や制約からは一線を画し、視座を世界に据えれば、「ユネスコ創造都市ネットワーク」や「東アジア文化都市」にみられるように、国際舞台において自らの個性や価値を主張することができます。また、各国からの旅行者が東京や京都のみならず、地方都市にも多く来訪している実状に鑑みれば、人々は既に国ではなく、都市を選んでいると言っても過言ではありません。

このような時代だからこそ、希有な歴史を有し、独自の発展を遂げてきた金沢が新たな高みへと飛躍するため、市政を取り巻く環境の変化を踏まえ、20年先、30年先の将来をも見据えつつ、おおむね10年後の令和16（2034）年を目標年次とする新たなまちづくりの指針として、金沢市都市像を策定するものです。

なお、本市では、昭和60（1985）年に「金沢市基本構想」を策定し、これを市政運営における最上位の基本理念として継承してきました。ここに掲げられた「市民主体」、「豊かな人間環境の構築」及び「国際的文化産業都市」の三つの理念は、金沢の歴史や個性、価値観などを礎とした普遍的な考え方であり、引き続き、継承していきます。

2 市政を取り巻く環境の変化

(1) 人口減少・少子高齢化の進展

我が国では、世界に類を見ない速度で人口減少・少子高齢化が進展しています。本市においても、国全体の動向に追随する形で推移しており、公共施設の統合や公共交通網の再編、これに伴う地域活力の低下が懸念されるほか、地域経済をはじめ、福祉、

教育、地域コミュニティなど、あらゆる分野で、担い手不足などの課題が顕在化しています。

(2) 新型コロナウイルス感染症による変化

新型コロナウイルス感染症は、デジタル分野における急速な技術革新を背景に、人々の価値観や行動を大きく変化させました。働き方や住まい方の多様化が進み、多地域居住や地方移住への関心が高まったほか、電子商取引をはじめ様々な場面でデジタルやオンラインの活用が進んでいます。

(3) 持続可能な開発目標（SDGs）の達成

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、心と身体の健康が求められる時代にあつて、多様性を認め合い、あらゆる人々が心豊かに幸せを感じられる社会を実現するとともに、脱炭素社会への移行に向けた取組を進める必要性が高まっています。

(4) 北陸新幹線延伸の好機と都市間競争の激化

北陸新幹線の敦賀延伸を「第二の開業」と位置付け、交流人口の拡大に取り組むことはもとより、これを好機と捉え金沢の拠点性を高めるなど、大阪までの全線開業をも見据えた対応が求められています。

また、東京一極集中の是正に向けて、地方都市の存在理由・成長が求められる時代にあつて、都市間競争が激しさを増す中、日本海国土軸における主要都市である金沢は、そのリーダーとしての役割が期待されています。

(5) 安全・安心な都市の構築

気候変動の影響による局地的な豪雨や頻発する地震など、自然災害への備えが国家的な課題となっています。本市においても、防災・減災機能の強化とともに、地域との協働による減災体制の強化が重要です。

3 目指すべき将来像

「未来を拓く^{ひら}世界の共創文化都市・金沢」 ～すべての人々と共に、心豊かで活力ある未来を創る～

金沢の個性は「文化」にあります。藩政時代より本市固有の歴史に培われてきた「芸能」、「工芸」、「食」などの伝統文化が、先人たちの不断の努力により磨き高められながら連綿と継承されてきました。また、革新の息吹が吹き込まれ、独自の展開を見せている文化芸術もあります。近年、「スポーツ」や「建築」、「木」などを価値付けすることで、新たな文化として市民とともに育てています。

他方、「文化」は「年月を経て形成される、人と暮らしに関わるすべてのもの」と広く捉えることができます。このような文化の本質に鑑みると、まちや市民が培ってきた規範や精神性も、金沢の「文化」と言えます。

金沢のまちは、豊かな自然や風土とともに、街路や用水、歴史遺産などの都市景観、すなわち文化的景観の保全により、良好な雰囲気醸し出されています。そのことは、「保全と開発の調和」という、まちづくりの規範にもつながっており、「まちづくりの文化」とも言えます。また、いわゆる「金沢方式」もその現れです。善隣館や義勇消防を起源とする地域コミュニティの連帯に、公私協働を重んじる市民の精神性が見られます。「金沢しぐさ」と称される所作や言葉などにも、それは息づいており、そこには、風流さや奥ゆかしさ、相手を思いやる気持ちとともに、格式を重んじるこだわりが体現されています。

金沢に「住む人」の多くは、それらを自らのアイデンティティの源として、誇りと愛着を感じてきました。また、金沢に「訪れる人」の多くは、「文化」の奥深さを体感し、良好な雰囲気が醸し出されるまちのたたずまいを感じ取ることができます。これらを総合したとき、このような広義の「文化」こそが、世界にも通用する「金沢らしさ」の源泉と言えます。この個性を、将来にわたって継承するとともに、そこに住むすべての人にとって共通の拠り所として、市民生活や経済活動のみならず、福祉、環境、教育などの各般に、より一層身近なものとして生かしていく必要があります。すなわち、「魅力づくり」では、誰もが文化芸術に親しむことができる環境の充実や、ほんものの文化の魅力発信による都市ブランド力の向上などに取り組むほか、「暮らしづくり」では、地域への誇りと愛着の醸成や心身の健康増進などに、「人づくり」では、次代の担い手育成や豊かな心と創造力を育む情操教育などに、「仕事づくり」では、産業との融合による新たな価値の創造などに、「都市づくり」では、魅力あふれる中心市街地の活性化や品格ある都市景観の形成などに広く「文化」を生かし、文化都市の名にふさわしいまちの礎を確立します。

また、金沢が革新の息吹を取り入れながら、様々な時代を乗り越えて発展してきたように、不確かで見えが難しい現代にあっては、今に息づく「文化」を基軸に、多様であることや柔軟であることにも価値を求め、常に新たな風を加えることも大切です。そのため、高等教育機関の知見をはじめ、若い世代や民間事業者、移住者など、地域に関わる多様な人々の視点や活力を取り入れるとともに、あらゆる分野において、誰一人取り

残さない金沢独自の取組を探究し、これを「新たなまちづくりの文化」へと昇華させることで、しなやかに、心豊かで活力ある未来の金沢を、すべての人々と共に創りあげていきます。

4 基本方針

目指すべき将来像の実現に向けて、「本市の文化を強みに多様な分野への活用」、「若い世代や民間事業者、移住者など、地域に関わる多様な人々の視点や活力の活用」及び「あらゆる分野におけるデジタル化の推進」の三つを、以下に掲げる分野ごとの基本方針における横断的な共通の視点とします。

基本方針1 世界に誇る伝統と創造の文化が息づくまち ～魅力づくり～

(1) 誰もが文化芸術に親しむことができる環境の充実

文化芸術に触れる機会の充実、デジタル技術を生かした文化の共有、文化芸術に携わる多様な主体の活動支援、文化芸術・スポーツの活動基盤の整備と利用促進などに取り組みます。

(2) 歴史と伝統に培われた文化の継承・発展

伝統文化の担い手・支え手の育成、金澤町家や用水など伝統あるまちなみの継承・向上、文化財・歴史遺産を生かした魅力の向上などに取り組みます。

(3) まちの品格を高める新たな文化の創造

歴史と伝統に根差した質の高い文化のさらなる魅力創造、仕事・学び・暮らしの中で文化を身近に感じ教養を高める環境の創出、スポーツ文化・建築文化・木の文化など多様な文化の振興などに取り組みます。

(4) 世界の人々が憧れ滞在したくなる都市ブランド力の向上

住む人と訪れる人がまちの価値を共有し共に高めていく機会の充実、歴史と伝統に裏打ちされたほんものの魅力の創造・発信による文化観光の推進、世界が認める食文化と金沢クラフトの発信、来街者の満足度を高める受入環境の充実・強化と交流の促進などに取り組みます。

基本方針2 多様な人々が共生し、心豊かに暮らせるまち ～暮らしづくり～

(1) 多様な主体の協働による元気で活力あふれる地域コミュニティの醸成

民間事業者や学生など多様な主体の活躍と世代間の連携による地域コミュニティの活性化、地域への誇りや愛着を醸成する地域活動への参加促進、持続可能なコミュニティを支える基盤の強化などに取り組みます。

(2) 誰もが安心して共に暮らせる地域社会の実現

豊かな福祉コミュニティの継承と福祉意識の高揚、人と人・人と社会がつながり支え合う地域福祉の推進、年齢や性別・障害の有無・国籍などに関わりなく多様性を認め合う共生社会の実現、デジタル技術の活用による福祉サービスの充実・強化などに取り組みます。

(3) 心身ともに健やかに暮らせる健康都市の推進

未病対策の推進と健康を守る環境の整備、医療体制の充実と健康危機管理体制の強化、文化芸術・スポーツ活動を通じた健康増進などに取り組みます。

(4) 人と自然が共生する地球にやさしい生活環境の形成

ゼロカーボンシティの実現に向けた脱炭素化の推進、ごみの減量と資源循環の推進、自然環境の保全と次世代への継承などに取り組みます。

基本方針3 共に学び、未来を創る人を育むまち ～人づくり～

(1) 妊娠・出産から子どもの成長に合わせた切れ目のない支援

地域・各種団体・企業等との連携・協力による子育て環境の充実、すべての子どもの健やかな成長の支援、教育・福祉の連携による総合支援体制の強化などに取り組みます。

(2) すべての子どもの可能性を引き出し生きる力を育む教育の実践

特色ある教育モデルの構築と実践、誰一人取り残さない子どもの学びへの支援、魅力ある教育施設の整備と学習環境の充実などに取り組みます。

(3) 学都の強みを生かした次代の担い手育成

学生のまちへの愛着の醸成、未来を担う若い世代の社会参画の促進、高等教育機関との連携による人材の輩出と学術活動に資する基盤・施設整備などに取り組みます。

(4) 学びの文化の形成と情操教育の推進

地域の歴史・文化を学ぶ機会の充実、生涯を通じて学び続ける環境の整備、文化芸術体験による豊かな心と創造力の育成などに取り組みます。

基本方針4 創造・変革により成長するまち ～仕事づくり～

(1) 地域経済をけん引する新たな産業の創出・育成

D X・G Xの推進と文化・産業の融合による産業活性化、産学官金の連携による付加価値の高い産業の創出、起業などに挑戦する学生・若い世代・女性等への

支援の充実、金沢発のイノベーションを誘発する企業・クリエイターの誘致などに取り組みます。

(2) あらゆる世代の多様な人材の活躍と働き方の推進

誰もが活躍でき働きがいを感じられる環境の実現、高度な専門知識と技能を有する人材の育成とグローバル化への対応強化、デジタル人材の育成や技能の学び直しによる企業の生産性向上などに取り組みます。

(3) にぎわいのある商業環境の形成とものづくり産業の継承・発展

社会の要請や住民ニーズに即した多角的な商店街機能の構築、次代を担う産業人材の育成・確保と事業承継への支援、世界を意識した戦略的な市場開拓への支援、金沢の個性である伝統工芸品産業の継承と振興への支援などに取り組みます。

(4) 次代につなぐ魅力ある農林水産業の振興

多様な担い手の育成・確保と経営基盤の強化、先端技術の活用による生産技術の継承・向上、地元農水産物のブランド力向上と金沢産材の普及促進、豊かな食文化を支える物流環境の整備などに取り組みます。

基本方針5 活力と個性があふれ、安全で持続可能なまち ～都市づくり～

(1) 魅力あふれる中心市街地の活性化

骨格となる都心軸の再興、多様な文化活動と地域経済が循環する中心市街地の形成、居心地よく過ごせる空間の創出と魅力ある歩行環境の整備、老朽ビルの更新や再開発などによるまちなかの価値向上などに取り組みます。

(2) 歴史や自然と調和した都市景観の形成

歴史に培われた景観の保全と創出、無電柱化による良好な景観形成、市民との協働による緑の資産の保全・継承などに取り組みます。

(3) 人と活力の還流による地域の再生

移住・定住の促進や関係人口の拡大による地域活性化、外部人材の誘致・活用と地域を担うリーダーの育成、田園・中山間地域における交流拠点の形成などに取り組みます。

(4) 市民生活を支える交通ネットワークの確保

快適で安全な交通利用環境の向上と交通機能の連携強化、公共交通の利用促進と交通行動の転換、人流・物流の円滑化・安定化に向けた広域交通基盤の充実などに取り組みます。

(5) 災害に強く効率的で質の高い都市運営の実践

地域との協働による安全・安心の確保、都市防災機能の向上と快適な生活環境の形成、都市施設の再編と跡地等の有効活用、デジタル技術の活用や広域連携の強化による行政サービスの充実などに取り組みます。